

第28回北勢線の魅力を探る 「春深し 山里かける ナローゲージ」

開催日：2017年4月9日（日）

参加者：75人（内子ども2人）

協力：教昌寺住職、東貝野自治会長、勝泉寺住職、
ふるさといなべ市の語り部 樋口さん、小川さん

麻生田駅から山郷小学校へ

阿下喜行の電車から麻生田駅で大勢の乗客が降り立った。北勢線では麻生田駅のみトイレがないので、近くの萬笑院さんをお借りする。アメリカの若い女性も参加している。彼女は菰野高校の英語の教師をしており、カタコトの日本語だ。背が高いので、コンパスが大きい。駅から北へ向ってほぼ直線の単調な道を進む。途中から雨が降り出し、折りたたみ傘を出す。最初の見学先の山郷小学校では、同校の卒業生である伊藤忠さんが説明した。明治8年(1875)に其原学校が誕生し、その後の変遷を経て明治24年に山郷尋常小学校となった。最近付近に住宅が増えたので、当校の児童数は毎年ほぼ同じ数である。校庭の片隅に蛭原静修翁（源吾）先生と息子の金弥先生の表績碑が建っている。蛭原源吾先生は其原学校開校時に校長となり、息子の金弥先生は山郷小学校初代校長となられた。



山郷小学校

大辻神社～平野新田墓地



大辻神社

大辻神社に着いた頃には雨の心配もなくなった。大辻神社の歴史は大辻新田の歴史そのものである。宝暦6年(1756)に開拓されたが、水利の便などが悪く、10年後に開拓を断念した。そののち寛政5年(1794)藩主から大辻新田の土地は、鼓村庄屋・渡辺三郎右衛門に与えられた。渡辺家は水利事業などに着手し、新しい水田を作った。それにより鼓村の波羅神社より分霊して大辻神社を創建した。

平野新田共同墓地では語り部の樋口さんから話を聞いた。2基の大きな自然石の碑は平野新田の開拓の祖、梶清左衛門（西側）と博徒・神戸屋嘉助（本名加治嘉助）（東側）の墓碑である。神戸屋嘉助は平野新田の出身者で、穴太徳（神戸屋徳次郎）の子分となり荒神山の決闘で名を挙げた。



平野新田墓地

平野神社～教昌寺

次に平野神社へ。梶清左衛門安宗は寛永12年(1635)から平野新田開発に着手した。平野新田の「平」は桑名藩主・松平定綱より松平の一字を賜ったともいわれる。定綱没後に定綱を祀ることを許されたことが平野神社の創祀である。現在



平野神社

の社殿は嘉永年間(1848～1854)の建立。境内で最も古い石造物は文久元年(1861)8月に加治家が寄進した手水石である。

次に鼓の教昌寺で、にこやかなご住職の説明を聞いた。長島一向一揆後に長島の津坂氏がこの地に移住し、鼓の庄屋8代渡辺三野右衛門の庇護を受けて草庵を建てた。弘化4年(1847)、庄屋10代渡辺三郎右衛門の尽力によって現在の本堂が建立された。本堂軒下に吊された喚鐘は、渡辺氏が寄進したものといわれ、「慶長十二(1607)丁未十一月鑄之」とあり、桑名の鑄物師・広瀬九良兵衛の名が刻まれている。暖かい日差しの中、ちょうど昼を告げる梵鐘の音に聞き惚れながら弁当をとった。



教昌寺

波羅神社～貝野神社～勝泉寺



波羅神社

近くの波羅神社へ参拝。語り部の小川さんの説明を聞く。狛犬に応永32年(1425)4月吉日と刻されているので、室町時代創建と思われる。

鼓地区は古来より独立した村としての歴史があり、当神社は氏神として村人の信仰熱い神社であった。故に境内の樹木も壮大である。明治5年には村社となり、明治42年には八剣社・山神社・近隣の大辻村社も合祀した(後に分祀)。大正元年(1912)の台風により杉の大木が倒れ本殿全壊、拝殿半壊となったが、多くの倒れた木を売却して費用を捻出し、大正4年に再建した。

これまでは上り坂であったが、鼓から阿下喜までは下り坂となり、また、見晴らしもよく、山裾に桜が満開なのが見て取れる。貝野神社の境内では、東貝野区長の伊藤勉さんが、爽やかな口調で神社の縁起を話して頂いた。貝野神社は1200年前の神亀年中に現在の所より東北の社護司塚に祀られていたとも言われている。明治40年12月八幡社、走井社、稲荷社、水上社、山神社(三社)を合祀した。貝野神社の大祭(10月)には青年団による「おみおく練り」の行事があったが、少子化により現在はなくなっている。



貝野神社

次の目的地、勝泉寺まで2キロ近くあって列は自然に長くなる。勝泉寺の内の枝垂れ桜(エドヒガン)は散り始めていたが、まだ見頃の花に山里の春を感じた。ご住職からお寺の由緒などを聞いた。天平年中(729～48)行基により開基、天野寺と称して東貝野に在ったと伝えられる。そのご幾多の変遷があったが、寛文12年(1672)木仏本尊と「天皇山勝泉寺」の寺号が下付された。境内のエドヒガンは天保14年(1843)本堂の再建を祝って植樹されたもので、毎年3月下旬満開になる。エドヒガンの開花状況を電話で問い合わせることで、寺のお務めに差し障りもあるとのこと。



勝泉寺